企画財政課の現状と未来

菊　地　　亮

キーワード：内部留保資金；医療出前講座；広報；医療職の確保・育成
（雲南市立病院医学雑誌　2019; 16(1): 94-96）

平成30年４月及び平成31年４月の組織再編により、それまで総務課に組織されていた財政係、広報政策係及び地域医療人育成センター業務を踏襲し、現在の企画財政課が誕生した。現在は財政係、企画係の２つの係で構成され、その中で地域医療人育成センターの事務も担っている。

平成31年４月現在、財政係２名、企画係２名、課長１名、計５名で業務にあたっている。

財　政　係

病院事業会計の財務全般を担い、その管理的立場にある。管理する上で重要視することは多々あるが、中でも内部留保資金の確保については最重要課題として取り組んでいる。

平成18年度決算にて繰越内部留保資金が約12百万円となり財政危機に陥った。この件は新聞報道でも大きく取り上げられた。一旦はどん底に落ちた財政状況であったが、「がんばれ雲南病院市民の会」や「病院ボランティアの会」などの住民団体の後ろ盾に支えられながら、構成市町村からの金銭的補助、雲南市一般会計からの繰入基準の見直し、そして職員による経営努力により、平成19年度から現在に至るまで内部留保資金は毎年蓄積が図られ、平成30年度決算時には繰越内部留保資金が15億円を超えるまでになった。

本来、内部留保資金は医療機器や建物・設備などの再投資に回すものと考えるが、その用途には短期的な視点と長期的な視点でバランスよく計画していく必要があると考える。当院では、老朽化した医師・看護師宿舎を、建て替えも含めどう管理していくか、また、将来的には管理棟（平成２年竣工）、中央棟（平成８年竣工）の建て替えも計画しなければならない。更には、今後も目まぐるしく変化していくであろう医療ニーズに積極的かつ迅速に対応していくことも必要となる。

そのためにも財政面での体制を整えておくことが必要であり、内部留保資金の維持、蓄積を図っていくことが重要となる。今後も行政と病院が一体となり、また病院職員一人ひとりが経営的視点を持って業務にあたり、健全経営を継続できるよう実践していきたい。

企　画　係

広報や医療出前講座、新公立病院改革プランなど、多岐にわたる業務を担っている。

広報では、毎月市内全戸配布される広報誌「市報うんなん」や公式ホームページでの情報提供はもちろんのこと、フェイスブックによるタイムリーな情報提供を心掛けている。今後も、時代の変化にスムーズに対応しながら広報活動を行っていきたい。

平成23年度から始めた医療出前講座「飛び出す！雲南病院講座」は、平成30年度実績では100件2,836名と、初年度から比べて大幅な増加となっている（**図１**）。今後もメニュー等の充実を図りながら積極的に地域へ出掛け、皆さまとのふれ合いを通じて健康増進、疾病予防に貢献していきたい。

また、平成28年11月に総務省より策定された新公立病院改革プランに基づき、「雲南市立病院　新公立

雲南市立病院事務部企画財政課
著者連絡先：菊地　亮　雲南市立病院事務部企画財政課〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕
E-mail: hospital-kikakuz@city.unnan.shimane.jp

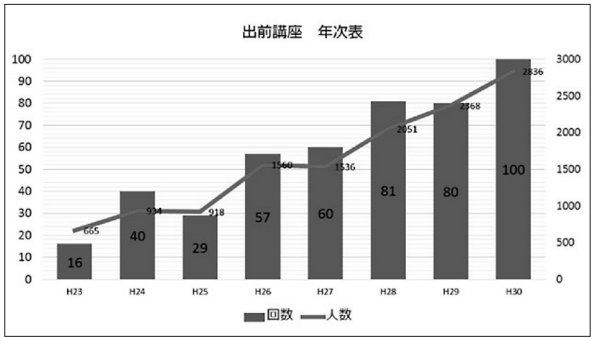

図１　出前講座数の年次推移

病院改革プラン」を作成した。プランは平成28年度から令和２年度の５年間とし、外部有識者や住民代表で構成する建設委員会にて点検・評価をしていただいている。今後も振り返りを行いながら着実にプランを実施していくことが重要であると考える。

地域医療人育成センター

平成21年４月に開設され、医療職の確保・育成（研修、実習の受入れ）、総合診療専門研修プログラム（プログラム策定、受入れ）、地域ケア科の事務全般などが主な業務である。

事務局として当課スタッフが兼務しているが、円滑に業務を遂行する上で、専門的な知識や経験が不可欠であることから「地域医療支援コーディネータ（島根大学修士課程）」を修得した職員１名が主務者として当該業務を担っている。

医療職の確保・育成に関しては、小学生から医学生、研修医などの研修や実習の受入れを積極的に行っている。

総合診療専門研修プログラム（後期専門研修）は、プライマリケア連合学会認定施設として対応し、家庭医療専門医が取得可能である。平成31年４月には、初めて１名の医師が当該プログラムで研修を開始した。当院にとって非常に大きな成果となった。これを機にロールモデルとして引き続き専攻医を集め、総合診療を目指す医師の研修環境を整備して行きたい。

平成31年度は、組織目標として初期臨床研修の基幹型施設認定の取得が掲げられており、また、今後は地域包括ケアシステム構築の更なる充実も求められていくことが予想される中、当センターの役割は今以上に重要になると考える（**図２、３、４**）。

図２　企画財政課スタッフ

図３　小学生ふるさと教育と中学生医療現場体験

図４　高校生１日助産師体験（上左）と島根県メディカルアカデミー（下左）、
高校生医療体験実習セミナー（上下右）

Present status and future perspective of the division of planning and finance in Unnan City Hospital.

Makoto Kikuchi

Division of planning and finance, ministry of affairs, Unnan City Hospital
Correspondence: Makoto Kikuchi, Division of planning and finance, ministry of affairs, Unnan City Hospital〔96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN〕
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: hospital-kikakuz@city.unnan.shimane.jp